



2024年9月6日

株式会社イトーヨーカ堂  
国立大学法人神戸大学

## AI が空調を変える！イトーヨーカ堂×神戸大学と共同で 「AI スマート空調システム」を店舗に本格導入 ～CO2 排出量累計約 2.2 万トンの削減を目指す！～

株式会社イトーヨーカ堂（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山本 哲也）は、国立大学法人神戸大学（本部：神戸市灘区、学長：藤澤正人）と共同で、人工知能(AI)を活用した空調エネルギー削減システム「AI スマート空調システム」をイトーヨーカ堂店舗に本格導入いたします。

この取り組みは、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の一環として、2030 年度までにグループ全体の店舗運営に伴う CO2 排出量を 2013 年度比で 50%削減し、2050 年度には実質ゼロにするという目標達成に向けた取り組みとなります。

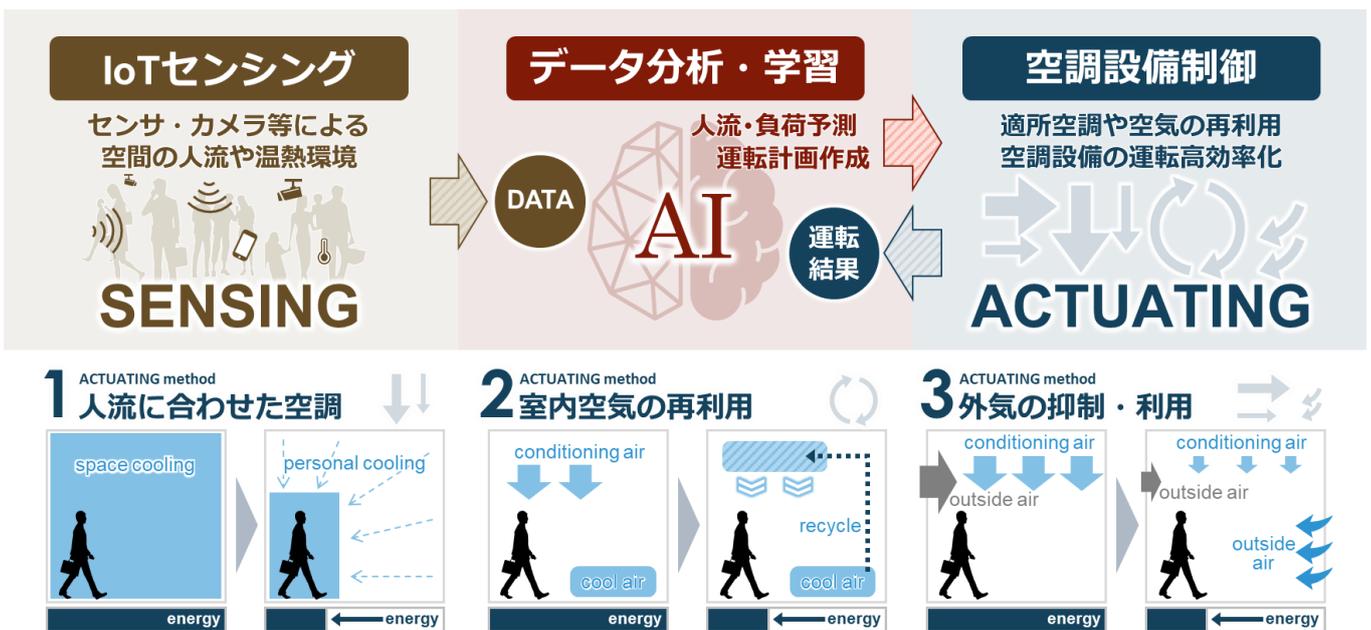
「AI スマート空調システム」は、店舗内に設置されたカメラや温度計などのセンサーによって収集された人流、温度、CO2 濃度などのデータを AI が解析・学習することで、最適な空調管理を行うシステムです。

これにより、来店客数や室温の変化に応じた効率的な空調運用が可能となり、お客様が集中するフロアを効率的に冷却・暖房を行い、お客様が少ない時間帯には、空調の稼働を抑制することで、大幅なエネルギー消費量の削減を実現します。

既に、イトーヨーカ堂八王子店では、2024 年 1 月から「AI スマート空調システム」の実証実験を開始しており、空調に関わるエネルギーを約 40%削減する効果が確認されています。この実証実験の結果を踏まえ、順次、イトーヨーカ堂の約 70 店舗に「AI スマート空調システム」を導入することを目指します。本システムを約 70 店舗に導入することで、セブン&アイグループが掲げる『GREEN CHALLENGE 2050』の 2030 年までの CO2 排出量削減目標に対し、2024 年度以降に必要な削減量の約 4.2%<sup>※1</sup>（約 2.2 万トン）相当を見込んでおります。

イトーヨーカ堂は、今後もステークホルダーの皆様とともに「信頼される誠実な企業」を目指し、産学連携などを通じて気候変動などの社会課題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1、セブン&アイグループ全体の「CO2 排出量削減」の 2030 年度目標に必要な削減量に対する割合



(「AI スマート空調システム」スキーム)

以上